



「海外での育児・子育て・共生」

校長 永 井 修

■ストレスたまりませんか？

私は「SNS弱者」です。投稿は一切せず、動画を見るくらいの人間です。そんな“閲覧専門”の私ですが、動画や内容（特に「親」としてアップしているもの）は、キラキラとした写真やコメントのように感じるのは、私だけでしょうか？

他の人は笑顔で楽しんでいるのに、
なぜ自分は、もやもやしているんだろう？

…こんな自己嫌悪に陥ってもおかしくないほど、SNS上ではきらびやかな部分の切り抜きを目にすることが多いというのが私の実感です。

特に、保護者の立場で言えば、海外では、

- ・気軽に子どもを見てもらえる人がいない
- ・片方の親が出張で不在がち
- ・狭いコミュニティで話せることも限られる
- ・近くに気軽に行ける児童館のような場所がなく子供も親も家にこもりがち
- ・自身の仕事を休んで（辞めて）日本を離れてきたので、復職への不安もある



といった実情もあると認識しています。



■人によって、家庭によって、違う

- ・“子育ては、常に楽しい”なんてありえない
- ・わが子の行動に、失望や怒りの感情を抱いてしまうこともある
- ・兄弟姉妹で違いが大きく、対応に苦慮する
- ・親だって常に笑顔でいられるわけがない
- ・他の人はストレスがないように見える
- ・上記のように感じてしまう自身への嫌悪感を抱いてしまう

…そんなことって、時には当たり前だと思います。もちろん、そうではない人もいます。



だからこそ、学校に保護者が集える日を多くして、お互いコミュニケーションをとれる機会を提供できればいいな、というのが私の考えです。

（私は、これも学校の役割の一つ、と認識しています。）

■タッチペンの今後の取り扱い

タブレット端末に付属しているペンの経年劣化が進んでいる件について、5月31日発行の学校だよりでお伝えした通りです。



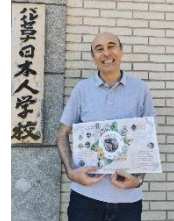
学校で所有している交換可能なタッチペン在庫がほぼなくなったことから、今後は以下の通りの取り扱いとさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・今後は、故障後は各家庭で購入願います。
 - ・買い替える際に推奨する品については、別紙でご連絡いたしますので、参考にしてください。
 - ・学校貸し出し分を使用している方は、そのままお使いいただけますが、故障後は捨てずに学校までご返却願います。
- （詳細は、別途メールを送付します。）

■ジョルディ先生（スペイン語講師）

2016（平成28）年より、本校のスペイン語講師として、スペイン語を話せる子たちへの指導を担当されていたジョルディ・オタル先生が、1学期末で本校での指導を終えることとなりました。子どもたちや職員とも、いつも柔和なお人柄で接してくださるジョルディ先生の今後の活躍を祈っています。

MUCHAS GRACIAS



なお、2学期以降の新しいスペイン語講師の先生については、2学期初めにお知らせいたします。

「人は小さな物事をバカにすることがあるが、これは考え違いだ。一通の手紙を書くにも『（私は）そのことに集中し、他のことは決して思ったり考えたりしない』」▼これは、新一万円札の肖像となり、「銀行創立」「鉄道敷設」という大事業を成し遂げた渋沢栄一の言葉。渋沢栄一が設立・支援した教育機関や社会公共事業、研究機関等は、約600。そんな大事業を成し遂げた人物が大事にしたのは“小事”でした▼私は、幼いころから「挨拶」「言葉遣い」「態度」「整理整頓」などの小事の所作については、母親から何度も注意され、うるさいとも思っていました▼私が大人になり、母の生い立ちを聞く機会があり、その話の中で「ああ、だからうちの母は、こういう小さなことを大事にするんだ」と納得した瞬間がありました▼“小事”を大切にすることについて、皆様のご家庭ではどうお考えですか？子供は、親の姿を通して感じていることだけは確実です。

「第18回世界こどもハイクコンテスト」入賞者について

昨年9月に行われた公益財団法人 JAL 財団主催「第18回世界こどもハイクコンテスト」において、本校から2名が選ばれ、賞をいただきました。おめでとうございます。入賞した2名以外の子どもたちも大変よく頑張りました。

入賞者2名には、7月19日(金)の休み時間に全校で表彰伝達を行いました。

【入賞者】

JAL スペイン賞

「夏の空 飛行機のもと 手をふって」

小学部5年 青木 海惺 さん

JAL スペイン賞

「ドンドンと おなかにひびく 花火の音」

小学部4年 三好 紗彩 さん



【小・中学部】キャリアパスポートを返却します

これまでの学習活動とのかかわりから子どもたちの記述をまとめ、累積した「キャリアパスポート」を、全家庭に一度返却いたします。学校でのお子様の取り組みについて内容をご覧いただき、家庭内でも話題にしていいただければと思います。



「キャリア教育」は、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲、態度や能力の育成を最終的に目指しています。単なる職業教育にとどまらず、自分について見つめ直し、他者や周りの環境に興味関心を深めながら、よりよい生き方を追求できる子どもたちを育てられるよう、バルセロナだからできる教育環境を生かし、2学期以降も進めていきます。

キャリアパスポートについては、押印していただき、2学期初日にお子様に持たせていただきますようお願いいたします。

地元フットサルチームとの「サッカー交流」を行いました

7月16日(火)に、本校で地元のフットサルクラブ「F.S サンクガット」のスタッフや選手の方と小・中学部の子どもたちが大好きなサッカーで交流をさせていただきました。

今回お出でいただいたうちの一人、西山乃彩選手は、昨年度「JIFF インクルーシブ教育プログラム」の出前授業でお世話になった先生で、今回の交流授業は、西山選手の仲介で実現しました。

コーチの先生から「笑顔が大事だよ」というアドバイスをもらいながら、子どもたちは小学部1～4年と小学部5年～中学部の2グループに分かれ、1時間ずつ心地よい汗を流すことができました。

西山選手、F.S サンクガットのスタッフの皆さん、ご協力をいただきありがとうございました。



令和6年度夏季体験入学を行いました

7月1日(月)から7月19日(金)の3週間、令和6年度の「夏季体験入学」を実施しました。

本年度は、幼稚部1名、小学部4名、中学部1名、計6名の参加があり、初日はみんな緊張気味でしたが、あっという間に友達や先生とも打ち解け、楽しく3週間を過ごすことができました。「また来たい。」「友達ができた。」など嬉しい感想をたくさん聞くことができました。

来年度もたくさんのご参加をお待ちいたしています。また夏季だけでなく、不定期での体験入学も実施しています。ご興味のあるご家庭は、ぜひご連絡をお待ちしています。

